

高齢者带状疱疹予防接種を受ける方へ

対象者

1. 年度内に65歳を迎える方
2. 60歳以上65歳未満の方であって、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害のある方（身体障害者1級程度）
3. 【令和7年度から11年度までの経過措置】
年度内に70、75、80、85、90、95、100歳となる方
※100歳以上の方については令和7年度に限り対象となります。
※5年後は定期接種の対象となりませんので、ご注意ください。

接種ワクチンの種類・接種回数・接種料金（自己負担） いずれか一方を接種

種類	生ワクチン (生水痘ワクチン「ビケン」)	組換えワクチン (シングリックス)
接種回数	1回	2か月の間隔で2回 ※病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある方等は、医師が必要と判断した場合、接種間隔を1か月まで短縮可能。
接種料金	接種料金（自己負担金）は接種券をご覧ください	

※生活保護世帯の方は免除（該当者は、接種前に保健センターでの手続きが必要です）

※組換えワクチンの場合、1回目を令和8年1月31日までに接種し2回目を令和8年3月31日までに接種する必要があります。

※医師が特に必要と認めた場合は、ほかのワクチンと同時接種が可能です。ただし、生ワクチンについては、ほかの生ワクチンと27日以上の間隔を置いて接種してください。

実施場所 裏面の指定医療機関一覧表をご覧ください。

※指定医療機関で接種できない場合は、事前に保健センターにお問い合わせください。

一般的注意

1. 事前に予約が必要です。（詳しくは指定医療機関にお問い合わせください。）
2. 予約日に、都合により接種できない場合や体調が悪い場合は、予約先に連絡し予約日を変更してください。
3. 本説明書をよく読み、必要性や副反応についてよくご理解のうえ、接種を受けてください。
4. 接種は健康状態の良好なときに受けてください。現在治療中の方は、接種に関して主治医に確認されることをお勧めします。
5. **接種当日は高齢者带状疱疹予防接種券、本人確認書類（マイナ保険証等）、接種料金を持参してください。**
対象者2の方は身体障害者手帳、生活保護世帯の方は接種前に免除証明書も持参してください。
6. 当日は診察があります。上半身脱ぎ着しやすい服装でお出かけください。
7. **高齢者带状疱疹予防接種は法律上の接種義務はないため、自らの意思で接種を希望される方のみ接種してください。**
8. 定期予防接種として接種して頂くためには、接種意思の確認及び予診票が市町村に提出されることへの同意署名が必要です。介助が必要な方は、本人の状況がわかる家族の方と一緒にお出かけください。その方の責任のもとに同意の代筆をしていただきます。
9. 次の場合は**全額自己負担**となります。
 - ・接種当日に住居登録がない場合
 - ・生ワクチン2回以上又は組換えワクチン3回以上接種した場合
 - ・接種期間外に接種した場合

予防接種を受けることができない方

1. 明らかに発熱のある人（医療機関で37.5℃以上）
2. 重篤な急性疾患にかかっている人
3. 带状疱疹ワクチンに含まれる成分によって、「アナフィラキシー※」を起こしたことのある人
※アナフィラキシーとは接種後30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。
4. (生ワクチンの場合のみ) 免疫不全の方、他の病気の治療などにより免疫抑制状態にある人
5. その他、医師が不適当な状態と判断した場合
1～4には入らなくても医師が当日の診察の結果、接種不適当と判断したときは接種できません。

予防接種を受けるに際し、担当医師とよく相談しなくてはならない人

1. 以前に带状疱疹予防接種を受けたことがある人
2. 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患のある人
3. 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた人及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある人
4. 過去にけいれんの既往のある人
5. 過去に免疫不全の診断がされている人及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる人
6. (生ワクチンの場合) 輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後3か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後6か月以上置いて接種してください。
7. (組換えワクチンの場合) 血小板減少症や凝固障害を有する人及び抗凝固療法を受けている人
8. ワクチンの成分に対してアレルギーを呈するおそれのある人

高齢者带状疱疹予防接種について

1 病気の説明

带状疱疹は、過去に水痘（いわゆる『水ぼうそう』）にかかった時に体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経支配領域に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水疱が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

带状疱疹は、70歳代で発症する方が最も多くなっています。

2 ワクチンの説明

種類	生ワクチン (生水痘ワクチン「ビケン」)	組換えワクチン (シングリックス)
接種方法	皮下に接種	筋肉内に接種
効果	1年後	6割程度の予防効果
	5年後	4割程度の予防効果
	10年後	—
副反応 (発現割合)	70%以上	—
	30%以上	注射部位の発赤
	10%以上	注射部位のかゆみ・熱感・腫れ 痛み・硬結
	1%以上	発疹、倦怠感
	頻度不明	アナフィラキシー、血小板減少性 紫斑病、無菌性髄膜炎

お問い合わせは各市町村の保健センターへ
津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村